株主通信（第83期 第１四半期）

2017年４月１日～2017年６月30日

Passion for the Next Innovation
～次なる革新への熱い思い～

株式会社電業社機械製作所

証券コード 6365

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第83期第１四半期の株主通信をお届けいたします。
今年度は、新たに策定した「New DMW 中期経営計画2019」のスタートの年となります。新スローガン“Passion for the Next Innovation ～次なる革新への熱い思い～”のもと、当社のブランド化を推進し、これまで以上に魅力ある企業へ変身することを目指します。
官公需向けの営業については、大型案件の受注を目指すと共に、設備の維持・補修等の堅調な需要に対しての提案営業に注力してまいります。海外向けの営業においては、強化したアブダビ支店などの海外営業拠点を活用し、積極的な営業活動を進めます。また、今年度よりインド工場の稼働を予定しており、競争力ある製品づくりにも注力してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年９月

代表取締役社長 土屋忠博

事業の概況

■受注状況

当社グループが属する風水力機械業界に関しては、官公需の受注が好調なことに加えて、海外での受注も増加しており、全体の受注額は前年同期に比べて増加しました。

このような環境下で、当社グループは積極的な営業活動を展開した結果、当第１四半期連結累計期間における受注額は、官公需の受注が増加したことにより、前年同期に対し120.4％の28億58百万円となりました。

■売上高・損益状況

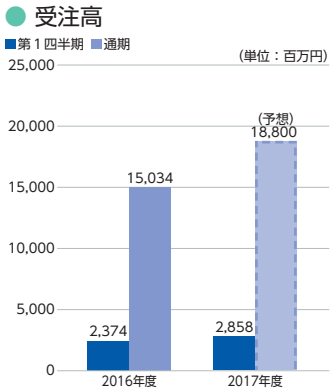
売上高につきましては、前年同期に対し88.5％の20億82百万円を計上しました。また、利益につきましては、前年同期に比べて利益率の良い案件が多いことなどから営業損失は１億70百万円（前年同四半期営業損失２億76百万円）となりました。その結果、経常損失は１億30百万円（前年同四半期経常損失２億34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は99百万円（前年同親会社株主に帰属する四半期純損失１億65百万円）となりました。

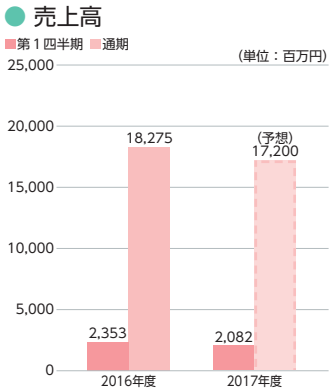
なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する季節性を有しています。そのため、例年、第１四半期の売上高については、相対的に低い水準にとどまっています。

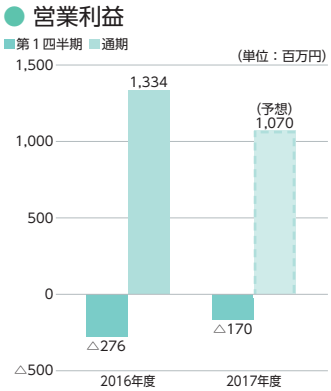
■通期の見通し

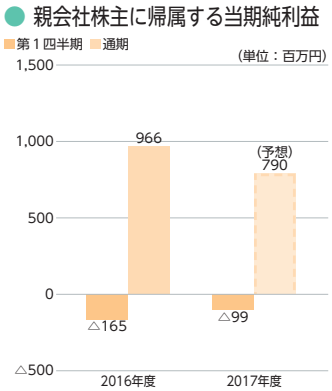
2018年３月期の連結業績予想につきましては、2017年５月15日に公表いたしました売上高172億円、営業利益10億70百万円、経常利益11億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益７億90百万円から変更はありません。

連結財務ハイライト





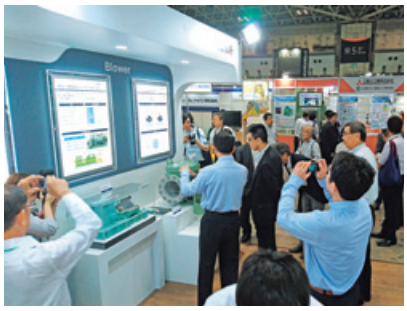




「下水道展」への出展

2017年８月１日から４日間、東京ビッグサイトで開催された「下水道、くらしを支え、未来を拓く 下水道展'17東京」に出展いたしました。同展示会は、公益社団法人日本下水道協会が主催するもので、30回目となる今回は350社が出展し、約55,000人が来場しました。

近年、集中豪雨やゲリラ豪雨等による浸水被害が増加しており、下水道に求められる役割はますます重要になっています。24時間365日機能することが求められる下水道施設は、効率の良い機器の導入等、省エネルギー対策が大きな課題となっています。



当社は今回、「ラムダ-２１（歯車減速機搭載型立軸一床式ポンプ)」、「AM-Turbo（新型ばっき用多段ブロワ)」など、高効率、低質量、省スペースを実現し、導入・維持管理コストの低減を図った製品について、映像やパネルを用いて紹介しました。

「第32回電業社夏まつり」開催

当社三島事業所では、1985年から地域社会の皆様との交流の場として、「電業社夏まつり」を事業所敷地内で開催しています。第32回となる今回は、近隣の方々や従業員、ＯＢ及びその家族約1,500人が来場されました。

会場では、当社従業員が中心となって焼きそば、フランクフルト、駄菓子及びおもちゃ等を販売したほか、市内の障害者就労支援施設による手作りジャムやパン等の販売が行われました。また、催しとして大道芸人によるパフォーマンス、従業員によるバンド演奏、町内子ども会によるしゃぎりの競演が行われました。祭りの最後を締めくくる大抽選会では、来場者の大きな歓声が沸き起こり盛況のうちに終了しました。

今後も地域社会との良好な関係を一層深められるよう「電業社夏まつり」の開催を継続してまいります。

「平成29年７月九州北部豪雨」災害への支援

2017年７月に発生した九州北部豪雨により被災された方々に対して、福岡県、大分県を通じて、DMW社会貢献基金*から義援金をお送りしました。

被災された地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

＊DMW社会貢献基金：災害への義援金や地域の社会福祉事業への助成金等の形で寄付を行うことを目的として、役員、従業員が積立を行っている社内基金

ホームページのご案内

当社ホームページ

http://www.dmw.co.jp/

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

「株主・投資家情報」検索はこちらから▼

電業社　IR　検索

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK